

令和2年度

**教育委員会の権限に属する
事務の点検評価結果の概要**

(令和元年度決算評価)

令和2年9月

豊橋市教育委員会

目 次

1	点検評価の概要	
	（1）点検評価の目的	1
	（2）点検評価の実施方法	1
2	行政評価のしくみ	1
3	総括	2
4	政策分析レポート	
	政策分析レポートとは	3
	2 健やかに暮らせるまちづくり	4
	3 心豊かな人を育てるまちづくり	5
	○細事業評価結果一覧	12
5	外部評価結果	19

1 点検評価の概要

(1) 点検評価の目的

平成 19 年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育事務の点検及び評価等に関する規定が追加され、平成 20 年 4 月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

点検・評価を通じて、効果的な教育行政の推進を図り、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検評価の実施方法

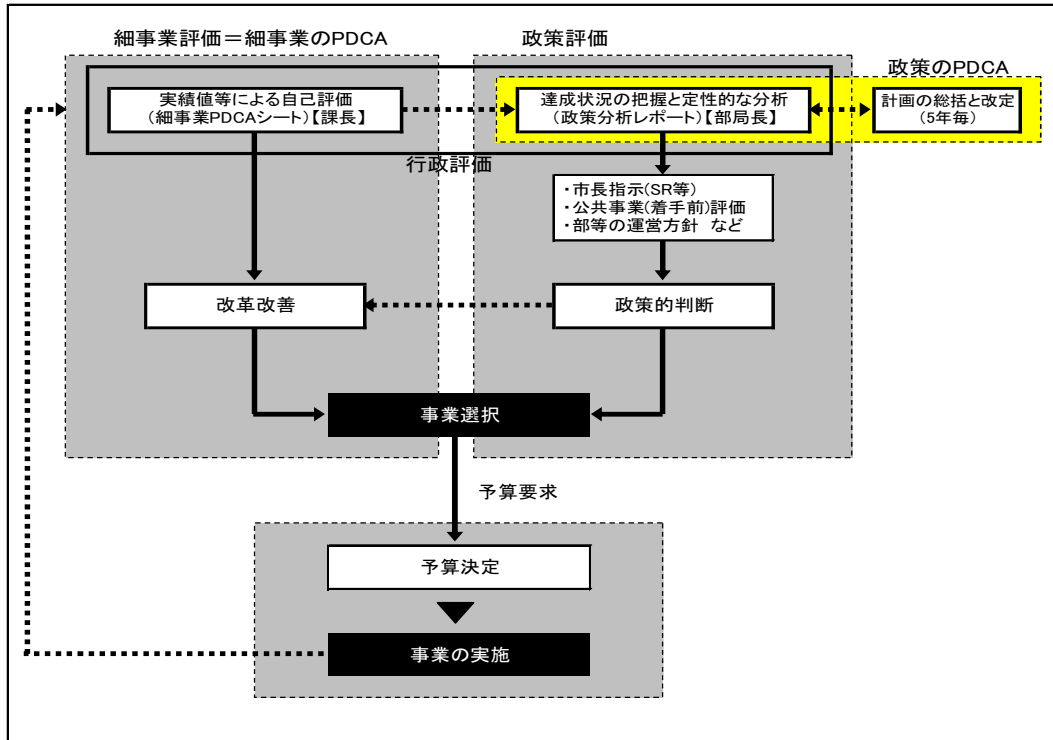
教育委員会の権限に属する事務の点検評価については、本市の行政評価を活用し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検評価の結果について、豊橋日本語学校校長で元豊橋市立小中学校校長会会長の白井宏治氏、豊橋創造大学短期大学部教授で元豊橋市教育委員会委員の朝倉由美子氏に、選定した 6 件の取組みに対して点検評価を実施していただきました。

2 行政評価のしくみ

本市の行政評価は、「政策」と、政策を推進するために実施する「細事業」の 2 段階で行います。

細事業評価では、実績に基づき進捗の評価を行うことで改革改善を進める一方、政策評価では、定性的な分析と政策判断を重視した総合評価を行います。

評価結果は、政策推進に向けた効果的な事業の選択と、行政資源の効率的な配分を図るために有効活用するとともに、財政計画や実施計画、行財政改革プランとも連携を図りながら、総合計画の推進に役立てていきます。



細事業の PDCA：実績評価－改革改善－事業選択－事業実施
 政策の PDCA：政策分析－計画の総括－計画改定－政策推進

3 総括

令和元年度決算評価では、行政評価の対象となる細事業数は1,034となりました。その内訳は、6分野44政策に属する細事業数が909、その他の細事業数が125でした。

教育委員会が関連する分野は第2分野「健やかに暮らせるまちづくり」の一部及び第3分野「心豊かな人を育てるまちづくり」の一部です。

総合評価一覧

【分野別計画】(教育委員会関連分)

分野	政策	取組みの基本方針数	評価対象		総合評価			
			細事業数	事業費(千円)	R1	(参考) H30		
2	健やかに暮らせるまちづくり	4	子育て支援・児童福祉の充実	6	32	21,525,446	A	A
3	心豊かな人を育てるまちづくり	1	学校教育の推進	6	87	13,516,805	B	A
		2	生涯学習の推進	3	31	740,238	B	B
		5	芸術文化の振興	3	26	1,045,261	A	B
		6	科学教育の振興	2	9	158,337	B	A
		7	文化財の保護と歴史の継承	2	8	303,585	B	B
		8	市民協働の推進	2	10	310,707	B	B
		10	男女共同参画の推進	2	4	12,721	B	B

※) A:成果が上がっている B:概ね成果が上がっている C:あまり成果が上がっていない D:成果が上がっていない

※) 事業費は直接事業費のみを集計しており、職員人件費や公債費等は除いています。

評価（分野別）のまとめ

「2 健やかに暮らせるまちづくり」分野の「4 子育て支援・児童福祉の充実」は、平成30年度決算評価から引き続きA評価となっています。放課後児童クラブを利用ニーズに合わせて増設するとともに、夏休み限定の児童クラブを開設するなど放課後における適切な遊びや生活の場の充実を図りました。

「3 心豊かな人を育てるまちづくり」の分野では、A評価が1政策、B評価が6政策と、平成30年度決算評価と比べA評価が1つ減少しましたが、外国人児童生徒への対応として、2つ目となる初期支援コース「みらい西」の開設や令和2年度八町小学校イマージョン教育コースの開設に向けた準備など、これからの時代を見据えた教育環境の充実を図りました。

4 政策分析レポート

政策分析レポート（分野別計画）とは

政策分析レポート（分野別計画）は、政策ごとに目標の達成度や細事業の進捗状況並びに昨今の社会経済情勢等による総合的な分析を行うことにより、政策の成果を評価し、今後の展開につなげるものです。

■【政策】及び【取組みの基本方針】

第5次豊橋市総合計画後期基本計画の分野別計画に掲載されている「政策」の名称及び「取組みの基本方針」を記載しています。

■【政策推進上の重要課題】

現状において当該政策を推進する上で重要な課題を記載しています。

■【取組みの目標】

第5次豊橋市総合計画後期基本計画の分野別計画に掲載されている目標と平成28年度から令和元年度までの実績値を記載しています。

■【主な取組みと決算データ】

「主な取組み」

当該政策を推進するための細事業のうち、主な取組みの内容と評価結果を記載しています。

「細事業評価結果一覧」

政策を構成する全ての細事業の「実績評価」結果と今後の「方向性」の集計結果を記載しています。

「決算データ」

行政評価の対象とした細事業の直接事業費を集計した結果を記載しており、職員人件費や公債費等は除いています（取組みの基本方針ごとに千円未満切り捨てとしています）。

■【政策の総合評価と今後の展開】

取組みの目標の達成状況や細事業評価結果に加え、取組みの実施状況等を踏まえ、政策の成果を次の4段階で総合的に評価するとともに、評価を踏まえ、今後重点的に進めていくことを記載しています。

A：成果が上がっている	B：概ね成果が上がっている
C：あまり成果が上がっていない	D：成果が上がっていない

【政策】 2-4	【取組みの基本方針】
子育て支援・ 児童福祉の充実	1. ライフステージに応じた支援の充実
	2. 子どもの権利の擁護
	3. 幼児期の教育・保育の充実
	4. 地域における子育て支援の充実
	5. 放課後児童対策の充実
	6. ひとり親家庭等の自立支援

■政策推進上の重要課題

- ・地域社会が一体となって子育てをする仕組みづくり
- ・保育ニーズの高まり、多様化への対応
- ・小学生の放課後等の安全・安心で健やかな活動場所の確保
- ・児童虐待防止体制の充実 など

■取組みの目標

【目標とする姿】子育て家庭を支援する仕組みが整っており、子育てをしやすいまちになっている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶認定こども園数を21園にします。 (H26年実績2園)	2園	9園	14園	18園	19園	
▶地域子育て支援拠点数を47か所にします。 (H26年実績43か所)	43か所	46か所	47か所	48か所	48か所	
▶放課後児童クラブ設置数を83か所にします。 (H26年実績67か所)	67か所	83か所	85か所	87か所	93か所	
▶子育て支援企業の認定事業所数を210事業所にします。 (H26年実績89事業所)	89事業所	190事業所	231事業所	277事業所	310事業所	

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない ー：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
切れ目のない子育て支援事業費	結婚から出産、育児へと続く切れ目のない支援のため、とよはし子育て応援宣言に基づいた取組みや子どもの貧困対策を推進	b	充実
子育てプラザ活動事業費	乳幼児（0～3歳）と保護者を対象に、子どもとのふれあいや仲間づくりの場を提供したほか、妊娠・出産・子育て総合相談窓口での多様な相談への対応やチャイルドサポートプラン説明会で情報提供を実施	b	充実
公営児童クラブ運営事業費	昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を提供	b	充実
児童相談事業費	児童や家庭に関する相談、特に児童虐待への対応や支援を行うため、要保護児童対策ネットワーク協議会の運営及び養育支援訪問事業、家庭児童相談を実施	b	充実
法人保育所等子どものための教育・保育給付事業費	保育所、認定こども園、幼稚園を通じた教育・保育サービス利用に対する給付を実施するとともに、市独自の保育料等の軽減により子育て世帯への経済的支援を拡充	b	充実

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない ー：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	ー	充実	縮小	維持	完了・廃止
32	5	19	0	8	13	1	16	2

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算（千円）	R1年度決算（千円）
1. ライフステージに応じた支援の充実	8,026,691	7,950,300
2. 子どもの権利の擁護	24,117	26,394
3. 幼児期の教育・保育の充実	9,963,477	10,677,798
4. 地域における子育て支援の充実	317,007	324,057
5. 放課後児童対策の充実	656,418	727,637
6. ひとり親家庭等の自立支援	1,522,983	1,819,260

■政策の総合評価と今後の展開

- ・妊娠から子育てに至る子育て支援の充実を図るため、妊娠・出産・子育て総合相談窓口で、様々な相談に対応しました。
- ・こども若者総合相談支援センターでは、相談支援にあたる職員の負担分散に努め、個別ケースをより重点的に支援する体制を整えました。
- ・幼児教育・保育の無償化に加えて、多子世帯等の0～2歳児の保育料や給食費（副食費）の減免を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。
- ・専任の保育コンシェルジュにより、入園する前から入園に至るまで、保護者に対する継続的な支援を実施しました。
- ・こども未来館内で新たに一時預かり事業を開始する等、多様化する利用者ニーズに対応した保育サービスや子育て支援サービスの充実を図りました。
- ・今後は、地域社会が一体となって子育てをする機運の醸成に努めるとともに、少子化対策と結婚支援を推進します。また、児童クラブの待機児童の解消並びに放課後における学習の場としての機能の充実、きめ細かなひとり親家庭への支援、児童相談所設置等を含めた児童相談体制のあり方の検討を進めます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

A

【政策】 3-1	【取組みの基本方針】
学校教育の推進	1. 「この子の輝く学び」の創造
	2. 子どもの心と体の健康増進
	3. 特色ある学校づくりの推進
	4. 教職員の力量向上
	5. 教育環境の整備・充実
	6. 市立の強みを活かした教育の推進

■政策推進上の重要課題

- ・多様化する教育的ニーズや時代の変化に対応した柔軟かつきめ細やかな教育の推進
- ・経済的な支援など様々なステージにおける切れ目のない教育機会の保障
- ・学校・家庭・地域が連携した特色ある学校づくりの推進
- ・老朽化した学校施設の計画的な改修 など

■取組みの目標

【目標とする姿】学校が核となる地域ぐるみの教育体制が構築され、生きる力を身につけた子どもが育っている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶学校評価における「確かな学力の保証」の項目がAランクに評価された小中学校の割合を50%にします。（H26年参考値43.1%）	43.1%	28.3%	31.8%	30.4%	29.1%	
▶学校評価における「健やかな体の育成」の項目がAランクに評価された小中学校の割合を65%にします。（H26年参考値58.3%）	58.3%	63.5%	67.6%	66.2%	64.9%	
▶学校評価における「家庭や地域との連携」の項目がAランクに評価された小中学校の割合を65%にします。（H26年参考値57.1%）	57.1%	41.9%	45.5%	47.3%	52.3%	

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
外国人児童生徒教育相談事業費	外国人児童生徒に対する教育相談員、外国人児童生徒教育相談コーディネーター及びスクールアシスタントの配置、登録ボランティアの派遣、初期支援コース「みらい」における初期日本語集中指導の実施	b	充実
英会話のできる豊橋っ子育成事業費	英語を用いてコミュニケーションができる子どもの育成のため、英語指導助手の配置、夏休み英語体験活動の充実、令和2年度八町小学校イマージョン教育コースの開設に向けた取組みを実施	b	充実
共同調理場再整備事業費	新学校給食共同調理場（仮称）整備等事業の事業契約を締結し、施設整備についてPFI事業者と協議を実施	—	維持
民間プール活用モデル事業費	民間プール施設を活用し、インストラクターと教員が協力して指導する水泳授業を2校においてモデル的に実施	b	充実
小中学校校舎等改修事業費（小中学校空調設備整備）	気象状況によらず、良質な教育環境を確保するため、小中学校の教室の空調設備を整備	a	完了・廃止

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
87	37	34	3	13	6	1	62	18

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算（千円）	R1年度決算（千円）
1. 「この子の輝く学び」の創造	769,984	798,111
2. 子どもの心と体の健康増進	3,206,075	2,941,893
3. 特色ある学校づくりの推進	8,988	8,956
4. 教職員の力量向上	25,313	23,705
5. 教育環境の整備・充実	5,383,312	9,485,465
6. 市立の強みを活かした教育の推進	253,357	258,675

■政策の総合評価と今後の展開

- ・外国人児童生徒への対応として、2つ目となる初期支援コース「みらい西」を開設し、来日して間もない生徒の初期日本語集中指導等の充実を図りました。
- ・英語を用いた実践的取組みによるコミュニケーション力を育成するとともに、令和2年度八町小学校イマージョン教育コースの開設に向けて準備を行いました。
- ・民間プール施設を活用した水泳授業の実施校を拡大し、民間のノウハウを活用して、水泳授業の質の向上を図るなど、子ども達の教育環境は着実に充実しています。
- ・今後、児童生徒の「学びの保障」に努め、より良い教育環境を提供するとともに、地域と連携した特色ある学校づくりや「生きる力」を育む教育を推進します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

【政策】 3-2	【取組みの基本方針】
生涯学習の推進	1. 生涯学習機会の充実
	2. 地域における生涯学習活動への支援
	3. 図書館の充実

■政策推進上の重要課題

- ・多様化する市民の学習ニーズへの対応
- ・自ら学んだ成果を地域社会で発揮できる環境整備
- ・地区市民館など社会教育施設の計画的な整備
- ・図書館機能とサービスの拡充 など

■取組みの目標

【目標とする姿】市民自ら学ぶ環境が整えられ、学びの輪が広がるような生涯学習活動が活発に行われている。	達成状況 (各年度の最新値)					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶地域の教育活動事業への参加者数を28,000人にします。(H26年実績24,464人)	24,464人	26,392人	30,282人	26,085人	27,070人	
▶図書館の年間入館者数を1,100,000人にします。(H26年実績638,866人)	638,866人	898,632人	901,418人	847,561人	875,293人	

■主な取組みと決算データ

主な取組み (実績評価結果 a : 順調に進んでいる b : 概ね順調に進んでいる c : あまり順調に進んでいない — : 評価しない)

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
生涯学習市民大学事業費	多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、一般講座や大学連携講座など67講座を開催	b	維持
地域教育活動事業費	市民自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元できるよう、地域の大人が子どもに対し多様な体験講座などを開催	b	充実
家庭教育講座事業費	子育てへの関心を高めるため、家庭教育に関する学習支援として、家庭教育セミナーなどを開催	b	維持
地区市民館管理運営事業費	自主グループの活動や市民のコミュニティ活動の場を提供するため、地区市民館22館を運営	b	維持
郷土・司文庫等図書業務費	市民の「調べる・研究する」意欲を増進していくため、図書館所有の貴重な郷土資料等のデジタルアーカイブを公開	a	充実

細事業評価結果一覧 (実績評価結果 a : 順調に進んでいる b : 概ね順調に進んでいる c : あまり順調に進んでいない — : 評価しない)

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
31	4	24	0	3	3	0	28	0

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算 (千円)	R1年度決算 (千円)
1. 生涯学習機会の充実	524,543	525,352
2. 地域における生涯学習活動の支援	17,987	17,675
3. 図書館の充実	221,218	197,211

■政策の総合評価と今後の展開

- ・トラムなど各種講座を開催し多様化する学習ニーズに対応するとともに、学んだ成果を地域での教育活動へ還元することができました。
- ・地区市民館の修繕や、生涯学習環境の整備により、地区市民館の利用促進を図ることができました。
- ・貴重な郷土資料等を「とよはしアーカイブ」で公開するとともに、記念行事を開催し、図書館の利用者を増やすことができました。
- ・今後、地域と連携した学力と体力向上を目指す「のびるんdeスクール」を実施し、放課後の学びの場を提供します。また、図書館では情報発信機能の強化やサービスの拡充を図り、「知と交流の創造拠点」の実現を目指します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A : 成果が上がっている B : 概ね成果が上がっている C : あまり成果が上がっていない D : 成果が上がっていない)

B

<p>【政策】 3-5</p>	<p>【取組みの基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 個性あふれる芸術文化の展開 芸術文化活動の推進 美術博物館の充実
<h1>芸術文化の振興</h1>	

■政策推進上の重要課題

- ・新たな豊橋文化の創造に向けた、芸術文化の呼び込みや発信
- ・青少年への優れた鑑賞機会の提供や個性的な創造活動の展開、芸術文化に関わる人材の育成
- ・価値観の多様化にあわせ、幅広く受け入れられる魅力的な展覧会や講座の開催
- ・文化施設や美術博物館の機能充実と利便性や環境の向上 など

■取組みの目標

<p>【目標とする姿】 芸術文化に親しむ環境が整備され、多くの市民が心豊かな生活を送っている。</p>	達成状況 (各年度の最新値)					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶文化施設の利用者数を830,000人にします。 (H26年実績790,199人)	790,199人	939,082人	854,342人	847,808人	814,999人	
▶芸術文化に関する普及・育成事業の参加者数を16,000人にします。 (H26年実績7,268人)	7,268人	18,813人	16,139人	13,178人	14,642人	
▶美術博物館入館者数を230,000人にします。 (H26年実績184,405人)	184,405人	198,621人	173,717人	147,281人	182,883人	

■主な取組みと決算データ

主な取組み (実績評価結果 a : 順調に進んでいる b : 概ね順調に進んでいる c : あまり順調に進んでいない — : 評価しない)

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
豊橋文化振興財団補助金	穂の国とよはし芸術劇場制作公演演劇賞受賞記念特別事業として「荒れ野」を再演したほか、市民参加型演劇公演「グッバイ・フランケンシュタイン～穂の国の怪物たち～」など様々な創造事業・鑑賞事業等を実施	a	維持
豊橋青少年オーケストラキャンプ事業補助金	ライブポートとよはしにて豊橋青少年オーケストラキャンプを計4日間実施したほか、道の駅とよはし及び自然史博物館でのプレコンサートを実施	a	維持
豊橋青少年オーケストラキャンプ10回記念事業費	豊橋青少年オーケストラキャンプの開催10回を記念し、ドイツから指揮者の浮ヶ谷孝夫氏をはじめブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルトを招聘してコンサートを実施	—	完了・廃止
展覧会事業費	美術博物館において、コレクション名品展「ナイン・ストーリーズ」「『豊橋』をものがたる100点」「未来へつなぐ災害の歴史」など収蔵資料を活用した美術・歴史の展覧会のほか、「魔法の美術館」「ストラスブルグ美術館展」など多彩な展覧会を開催	b	維持

細事業評価結果一覧 (実績評価結果 a : 順調に進んでいる b : 概ね順調に進んでいる c : あまり順調に進んでいない — : 評価しない)

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
26	7	15	2	2	2	0	23	1

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算 (千円)	R1年度決算 (千円)
1. 個性あふれる芸術文化の展開	162,447	171,436
2. 芸術文化活動の推進	695,157	744,191
3. 美術博物館の充実	122,804	129,634

■政策の総合評価と今後の展開

- ・穂の国とよはし芸術劇場が企画制作を行った演劇公演「荒れ野」をオリジナルキャストで豊橋と東京で再演し、全国へ発信するなど、市民の舞台芸術への関心を高めるとともに、より質の高い芸術文化に触れられる機会を提供することができました。
- ・「魔法の美術館」をマスコミとの実行委員会で開催するなど、新聞テレビなどを通じて効率的な広報ができました。
- ・今後は、展示・保存機能や鑑賞環境の向上のための美術博物館の改修を行うとともに、郷土ゆかりの美術や歴史を顕彰する展覧会や普及事業を開催します。また、新型コロナウイルス感染症の影響により文化活動が縮小しているため、文化活動を行う方々への再開支援を検討します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A : 成果が上がっている B : 概ね成果が上がっている C : あまり成果が上がっていない D : 成果が上がっていない)

A

【政策】 3-6	【取組みの基本方針】
科学教育の振興	1. 科学教育環境の充実
	2. 自然科学を学ぶ機会の充実

■政策推進上の重要課題

- ・科学教育の多様なプログラムの提供及び重要性の啓発
- ・社会情勢を踏まえた施設の計画的な整備・改修
- ・魅力的な企画展等の実施
- ・小・中・高・大学、研究機関、企業、ボランティア団体等との連携 など

■取組みの目標

【目標とする姿】科学教育環境が充実され、多くの市民が興味・関心を持ち、自然科学への理解が深まっている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶自然史博物館・地下資源館・視聴覚教育センターの入館者数の合計を820,000人にします。(H26年実績632,847人)	632,847人	737,735人	737,670人	751,998人	742,353人	
▶教育普及活動(学習教室等)の参加者数を15,000人にします。(H26年実績14,196人)	14,196人	13,587人	15,015人	14,941人	16,188人	

■主な取組みと決算データ

主な取組み (実績評価結果 a: 順調に進んでいる b: 概ね順調に進んでいる c: あまり順調に進んでいない —: 評価しない)

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
施設管理事業費(自然史博物館管理事業費)	自然史博物館の計画的な整備改修及び入館者の安全性・利便性・快適性を図るための施設、設備の充実	b	充実
教育普及活動事業費	自然科学への興味・関心を高めるため、迫力ある大型映像の上映、魅力的な企画展、出前授業、講座などの教育普及活動を実施	b	充実
特別企画展開催事業費	自然科学への興味・関心を掘り起こすため、地学系と生物系を交互に個別テーマとして取り上げ、計画的に特別企画展を開催	b	維持
視聴覚教育センター事業費	わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習、市民への科学情報の提供、科学講座・展示会の開催	b	維持
地下資源館事業費	学習教室(おもしろサイエンスの日、ワークショップ、実験ショーなど)や小学生サイエンスアイデア作品展・企画展の開催	b	維持

細事業評価結果一覧 (実績評価結果 a: 順調に進んでいる b: 概ね順調に進んでいる c: あまり順調に進んでいない —: 評価しない)

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
9	0	7	0	2	3	0	6	0

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算(千円)	R1年度決算(千円)
1. 科学教育環境の充実	76,027	83,698
2. 自然科学を学ぶ機会の充実	74,594	74,639

■政策の総合評価と今後の展開

- ・自然史博物館では、外部資金を活用して特別企画展や調査研究活動を行いました。また、大型映像の上映、特別企画展、ワークショップなどを通じて、多彩な教育普及活動を行いました。
- ・視聴覚教育センターでは、学校では経験しにくい学習体験や市民への学習教室の充実など最先端科学に触れる機会を提供しました。また、地下資源館では、「資源をくらしに生かす創意工夫展」をより科学的な内容とするため、「小学生サイエンスアイデア作品展」へ変更しました。
- ・こうした取組みにより入館者は増加傾向にあります。820,000人の目標値を下回っており、また、コロナ対策として新しい生活様式に対応した展示や教育プログラムが求められています。
- ・今後は、調査研究活動を充実させるとともに、自然史博物館・科学教育センター・動植物園で子どもから大人までが楽しく学ぶことができる様々なメニューを提供し、一体的な科学教育の拠点づくりを進めます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA~Dの4段階で評価
(A: 成果が上がっている B: 概ね成果が上がっている C: あまり成果が上がっていない D: 成果が上がっていない)

B

<p>【政策】 3-7</p> <p>文化財の保護と歴史の継承</p>	<p>【取組みの基本方針】</p> <p>1. 歴史資源の保存と活用</p> <p>2. 文化財保護活動の担い手の育成</p>
--	---

■政策推進上の重要課題

- ・将来にわたって残すべき有形・無形文化財等の調査・保存
- ・史跡や天然記念物を中心とした歴史・自然環境の保全
- ・歴史的景観・建造物の保全と公開・活用
- ・市民の文化財保護意識の醸成 など

■取組みの目標

<p>【目標とする姿】多くの市民に文化財や歴史資源に対する保護意識が醸成され、活用が図られている。</p>	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶二川宿本陣資料館の入館者数を43,000人にします。 (H26年実績35,064人)	35,064人	45,208人	42,349人	35,741人	36,032人	
▶文化財関連学習プログラム等の参加者数を3,000人にします。 (H26年実績2,681人)	2,681人	3,232人	4,701人	5,260人	5,230人	

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
文化財調査事業費	市内所在の文化財の調査や指定・登録及び埋蔵文化財の緊急発掘調査・確認調査、天然記念物の植生調査や回復作業、史跡瓜郷遺跡の土地購入	b	充実
文化財保存事業補助金	市指定有形文化財「愛知大学公館」の修理	b	維持
文化財保存活用事業費	とよはし歴史探訪、埋蔵文化財活用事業による展覧会及びシンポジウムの開催、文化財説明標示板の設置、講演会の開催	b	維持
展覧会事業費	歴史ある建造物などを主題とした「ジュディ・オング侑玉 木版画の世界展」や、名所案内・道中案内・旅日記などから見た「江戸時代の旅と温泉展」などの企画展を開催	b	維持
施設管理事業費 (商家「駒屋」事業費)	商家「駒屋」の管理運営、本陣資料館との連携による各種イベントの開催	b	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
8	1	7	0	0	1	0	7	0

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算（千円）	R1年度決算（千円）
1. 歴史資源の保存と活用	62,492	66,397
2. 文化財保護活動の担い手の育成	229,516	237,188

■政策の総合評価と今後の展開

- ・文化財の保存と活用及び文化財保護の担い手である市民の意識向上を図ることができました。
- ・二川宿本陣資料館、商家「駒屋」での展覧会、イベント開催により、二川宿の魅力を来訪者に伝えることができました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、二川宿本陣資料館入館者数が目標を下回るなど、感染症流行下における文化財の活用のあり方に課題を残しました。
- ・今後も文化財の調査と保存を継続し、その活用、体験講座・展示などを通じた文化財保護活動の担い手育成を進めるとともに、二川宿本陣、旅籠屋「清明屋」、商家「駒屋」の一体的な活用とPR活動を展開します。また、国指定史跡瓜郷遺跡指定地の公有地化と国指定史跡馬越長火塚古墳群の保有と活用を進めます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

【政策】 3-8	【取組みの基本方針】
市民協働の推進	1. 地域コミュニティ活動の促進
	2. 市民活動への支援

■政策推進上の重要課題

- ・協働に対する意識の醸成及び担い手の確保・育成
- ・地域コミュニティ団体と行政が協力し、地域住民が主体となったまちづくりの推進
- ・拠点施設の機能充実
- ・住みよい暮らしづくり計画推進への支援 など

■取組みの目標

【目標とする姿】市民協働への理解が進み、様々な場面で市民の自主的なまちづくり活動が展開されている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶まちづくり活動へ参加したことがある市民の割合を60%にします。 (H26年実績43.0%)	43.0%	—	49.4%	—	45.6%	
▶市民活動プラザ登録団体数を460団体にします。 (H26年実績387団体)	387団体	429団体	440団体	451団体	459団体	

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
自治連合会活動事業費	市からの様々な情報を地域に提供・周知するとともに、地域と市政に対する意見交換会を実施	b	維持
地域コミュニティ支援事業費	地域課題の解決に繋げるため、地域の人材育成のための講習会を開催	a	維持
校区市民館管理運営事業費	地域コミュニティの拠点施設、生涯学習の場として指定管理者による管理・運営を行うとともに、施設・設備の老朽化に対応	b	維持
市民協働推進補助金	公益的社会貢献活動を行う団体に補助を実施したほか、令和元年度から若者向けの補助金「わかば補助金」を創設	a	維持
市民センター管理運営事業費	市民活動・ボランティア活動を応援する施設として、指定管理者による管理・運営を行うとともに、各種講座、交流会などを実施	b	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
10	3	6	0	1	1	0	9	0

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算（千円）	R1年度決算（千円）
1. 地域コミュニティ活動の促進	281,276	270,533
2. 市民活動への支援	42,914	40,174

■政策の総合評価と今後の展開

- ・地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設である校区市民館の修繕や冷暖房機の取替え、防犯対策のため防犯カメラ保守点検を行うなど施設の環境整備を進めることができました。
- ・地域のまちづくりを担う人材育成に向け、自治会長をはじめ各種団体役員などを対象に、まちづくり講習会を開催し、地域のまちづくりに対する意識の高揚を図ることができました。
- ・豊橋市市民協働推進審議会の提言による「地域課題の洗い出しについて」の話し合いを自治連合会研修会で行うとともに、自治会活動事例集を作成しました。
- ・若者向けの補助金「わかば補助金」の創設など、市民活動の活性化に取り組み、市民活動プラザ登録団体数は増加しました。
- ・まちづくり活動に参加したことがある市民の割合は、前回調査より減少しているため、意識啓発などを図り、まちづくり活動への参加を促す必要があります。
- ・今後は、市民館を活用した地域コミュニティ活性化事業を実施するとともに、若者が政策提案を行う「豊橋わかば議会」の開催や第3次市民協働推進計画の策定などを行い、さらなる市民活動の活性化を図ります。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

【政策】 3-10

【取組みの基本方針】

男女共同参画の推進

1. 男女がともに活躍できる機会の充実
2. 女性の自立支援

■政策推進上の重要課題

- ・女性の就労支援、自立支援の推進
- ・性別による固定的役割分担意識の解消及びワーク・ライフ・バランスの推進
- ・地域における男女共同参画の推進
- ・男女の人権を尊重する意識の高揚 など

■取組みの目標

【目標とする姿】性別にとらわれず個性や能力を自由に発揮でき、男女がともにいきいきと活躍できるまちとなっている。

達成状況（各年度の最新値）

	基準値	達成状況（各年度の最新値）				
		H28	H29	H30	R1	R2
▶30歳代の女性の雇用率を70%以上にします。 (H26年実績62.1%)	62.1%	77.4%	—	—	77.2%	
▶各種委員会、審議会等への女性委員の参画比率を35%以上にします。 (H26年実績29.7%)	29.7%	29.7%	29.6%	30.6%	30.2%	

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
男女共同参画啓発事業費	豊橋市男女共同参画行動計画「ハーモニープラン2018-2022」の推進	c	充実
男女共生フェスティバル開催事業補助金	男女共同参画意識の啓発を目的とした講演会、分科会、各種団体の活動発表等の開催	c	維持
女性相談事業費	悩みを抱える女性に対し、女性相談員によるDV相談窓口をはじめ各種相談業務を実施	a	維持
男女共同参画センター管理運営事業費	男女共同参画の推進に取り組む団体活動の支援や、意識と資質の向上を目指した各種市民講座の開催、図書資料等の収集・提供や掲示物による情報発信の実施	c	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
4	1	0	3	0	1	0	3	0

決算データ

取組みの基本方針	H30年度決算（千円）	R1年度決算（千円）
1. 男女がともに活躍できる機会の充実	3,286	3,929
2. 女性の自立支援	9,016	8,792

■政策の総合評価と今後の展開

- ・女性の再就職を支援するための相談・セミナーの開催や、豊橋で働く女性等を対象として女性応援プロジェクトを実施することで、女性活躍の意識の高揚を図ることができました。
- ・女性相談やDV相談の周知を図りながら各種相談を実施し、悩みを持つ女性を支援することができました。
- ・各種委員会、審議会等への女性委員の参画比率が下がっていることから、所管課へ女性委員の登用について強く促していく必要があります。
- ・今後、再就職や正規職員へのステップアップを目指す女性を一層支援し、女性の就業率向上を図ります。また、安心して相談できる体制の整備を図るとともに、LGBT等性的少数者の面接相談窓口の開設など、様々な困難を抱える人々への支援を拡充します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
(A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

○細事業評価結果一覧

細事業の評価について

政策を実現する手段である細事業の進行管理と改革改善を行うため、細事業ごとに実績を測る指標を設定し、それを継続的に把握するとともに直接事業費の増減により、進捗を評価しています。

行政評価の対象となる細事業数は1,034で、そのうち政策（分野別計画）に属する細事業数は909でした。

細事業については、令和元年度に実施した事業の内容により下表の4類型に分類し、そのうち類型1～3を評価の対象としています。なお、事業費については直接事業費のみを評価することとしています。

類 型		備 考
1	ソフト事業	
2	ハード事業	工事のための補助金、一部の維持管理事業、修繕等を含む
3	その他事業	評価や改善がなじまない義務的な細事業で個別に決定
4	対象外事業	職員人件費や公債費など

■実績評価

進捗状況について、下記のとおり「a」～「c」で評価を行います。

・類型1（ソフト事業）

下表の評価基準を基本とし、細事業を取り巻く情勢や費用対効果等を勘案した上で評価を行っています。ただし、令和元年度の新規ソフト事業等については、前年度との比較ができないため、実績評価は「－」として記載しています。

実績値	決算額		
	増加	横ばい	減少
向上	b	a	a
横ばい	c	b	a
悪化	c	c	b

a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない

・類型2（ハード事業）

下表の評価基準により評価を行っています。

判断基準		
a（順調に進んでいる）	b（概ね順調に進んでいる）	c（あまり順調に進んでいない）
予定どおり事業が進捗した。	概ね予定どおり事業が進捗した。	予定どおり事業が進捗しなかった。

・類型3（その他事業）

評価や改善がなじまない義務的な事業のため、実績評価は「－」として記載しています。

■方向性

方向性	判断基準
充実	予算の増減に関わらず事業内容や規模を充実して実施するもの
縮小	事業内容や規模を縮小し実施するもの
維持	現状と同等の事業内容や規模で実施するもの
完了・廃止	事業を完了あるいは廃止するもの

2 健やかに暮らせるまちづくり

2-4 子育て支援・児童福祉の充実

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
ライフステージに応じた支援の充実	2040101	切れ目のない子育て支援事業費	b	充実
	2040102	児童手当給付事業費	-	維持
	2040103	子ども医療費助成事業費	b	充実
子どもの権利の擁護	2040201	児童相談支援事業費	b	充実
幼児期の教育・保育の充実	2040301	管理運営事業費（公立保育所等管理運営事業費）	b	充実
	2040302	法人保育所等子どものための教育・保育給付事業費	b	充実
	2040303	法人保育所・認定こども園通常保育事業費	b	充実
	2040304	法人保育所・認定こども園整備費補助金	a	維持
	2040305	私立幼稚園運営費補助金	b	維持
	2040306	私立幼稚園就園奨励費補助金	b	完了・廃止
	2040307	利用者支援事業費	-	充実
	2040308	子育て環境総合支援事業費	-	充実
地域における子育て支援の充実	2040401	管理運営事業費（交通児童館管理運営事業費）	a	維持
	2040402	施設管理事業費	b	充実
	2040403	子育てプラザ活動事業費	b	充実
	2040404	体験・発見プラザ活動事業費	a	維持
	2040405	企画活動事業費	b	維持
	2040406	児童遊園維持管理事業費	a	維持
	2040407	児童育成事業費	b	維持
	2040408	三人乗り自転車貸出事業費	b	維持
	2040409	法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費	b	充実
放課後児童対策の充実	2040501	公営児童クラブ運営事業費	b	充実
	2040502	民営児童クラブ運営事業費	b	充実
	2040503	放課後子ども教室運営事業費	a	縮小
ひとり親家庭等の自立支援	2040601	ひとり親家庭等自立支援事業費	b	維持
	2040602	児童扶養手当給付事業費	-	維持
	2040603	母子父子福祉手当給付事業費	-	維持
	2040604	母子生活支援施設入所事業費	b	維持
	2040605	助産施設入所事業費	b	維持
	2040606	未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金	-	完了・廃止
	2040607	母子父子家庭等医療費助成事業費	-	維持
	2040608	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	-	維持

3 心豊かな人を育てるまちづくり

3-1 学校教育の推進

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
「この子の輝く学び」の創造	3010101	外国人児童生徒教育相談事業費	b	充実
	3010102	教育相談活動事業費	a	充実
	3010103	不登校対策支援事業費	b	維持
	3010104	生徒指導対策事業費	b	維持
	3010105	いじめ問題対策事業費	b	維持
	3010106	行事開催事業費	b	維持
	3010107	教育活動支援事業費	b	維持
	3010108	授業・学習支援センター推進事業費	a	維持
	3010109	学校図書館活動推進事業費	a	充実
	3010110	小・中学校読書活動推進事業費	c	維持
	3010111	特別支援教育推進事業費	b	維持
	3010112	教育振興事業費	a	維持
	3010113	学力向上支援事業費	c	維持
	3010114	体力向上支援事業費	c	維持
	3010115	教育交流親善事業費	b	維持
	3010116	教育交流推進事業費	b	維持
	3010117	英会話のできる豊橋っ子育成事業費	b	充実
	3010118	ワクワク・ワーク・イン・とよはし推進事業費	b	維持
	3010119	コンピュータ活用事業費	b	充実
	3010120	プログラミング教育推進事業費	b	完了・廃止
	3010121	安全教育推進事業費	b	維持
	3010122	民間プール活用モデル事業費	b	充実
子どもの心と体の健康増進	3010201	学校健康診断事業費	a	維持
	3010202	学校保健会補助金	b	縮小
	3010203	学校事故災害給付金等請求事業費	a	維持
	3010204	学校結核予防事業費	a	維持
	3010205	学校環境衛生管理事業費	a	維持
	3010206	学校給食管理事業費	b	維持
	3010207	市立高等学校給食運営事業費	b	維持
	3010208	学校給食就学援助事業費	a	維持
	3010209	共同調理場運営事業費	b	維持
	3010210	学校給食施設管理事業費	b	維持
	3010211	豊橋市学校給食協会補助金	b	維持
	3010212	学校給食物資調達事業費	a	維持
	3010213	共同調理場再整備事業費	-	維持
特色ある学校づくりの推進	3010301	学校づくり推進事業費	a	維持
	3010302	学校運営支援事業費	a	維持
教職員の力量向上	3010401	指定校研究費補助金	b	維持
	3010402	現職研修委員会補助金	b	維持
	3010403	指定校研究受託事業費	-	完了・廃止
	3010404	施設管理等運営事業費	b	維持
	3010405	教職員研修事業費	b	維持
	3010406	教員免許状更新講習事業費	b	維持

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
教育環境の整備・充実	3010501	私学運営費補助金	b	維持
	3010502	私立高等学校授業料補助金	b	維持
	3010503	私立専修学校等授業料補助金	b	維持
	3010504	小・中学生就学事務事業費	-	維持
	3010505	就学援助事業費	b	維持
	3010506	学術全国大会補助金	-	維持
	3010507	奨学金給付事業費	b	維持
	3010508	家政高等専修学校整備事業費	a	完了・廃止
	3010509	管理事業費（小学校管理事業費）	-	維持
	3010510	教育活動事業費（小学校教育推進事業費）	-	維持
	3010511	小学校情報管理システム管理運営事業費	-	維持
	3010512	高根小学校校舎改築等事業費	a	完了・廃止
	3010513	八町小学校校舎増築等事業費	a	維持
	3010514	玉川小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010515	谷川小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010516	細谷小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010517	豊南小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010518	大村小学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010519	吉田方小学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010520	鷹丘小学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010521	嵩山小学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010522	豊南小学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010523	飯村小学校校舎改造事業費	a	完了・廃止
	3010524	二川南小学校校舎改造事業費	a	完了・廃止
	3010525	松葉小学校屋内運動場改造事業費	a	完了・廃止
	3010526	校舎等改修事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010527	運動場等整備事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010528	プール施設整備事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010529	一般補修事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010530	管理事業費（中学校管理事業費）	-	維持
	3010531	教育活動事業費（中学校教育推進事業費）	-	維持
	3010532	中学校情報管理システム管理運営事業費	-	維持
	3010533	青陵中学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010534	羽田中学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010535	本郷中学校校舎改造事業費	a	維持
	3010536	校舎等改修事業費（中学校環境整備事業費）	a	維持
	3010537	一般補修事業費（中学校環境整備事業費）	a	維持
	3010538	運動場等整備事業費（中学校環境整備事業費）	a	維持
市立の強みを活かした教育の推進	3010601	管理事業費（くすのき特別支援学校教育推進事業費）	-	維持
	3010602	教育活動事業費（くすのき特別支援学校教育推進事業費）	b	維持
	3010603	管理事業費（市立高等学校教育推進事業費）	-	維持
	3010604	教育活動事業費（市立高等学校教育推進事業費）	b	維持
	3010605	管理事業費（家政高等専修学校教育推進事業費）	-	維持
	3010606	教育活動事業費（家政高等専修学校教育推進事業費）	b	維持

3-2 生涯学習の推進

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
生涯学習機会の充実	3020101	生涯学習市民大学事業費	b	維持
	3020102	生涯学習活動事業費	a	維持
	3020103	地区市民館管理運営事業費	b	維持
	3020104	地区市民館整備事業費	a	維持
	3020105	青少年センター管理運営事業費	b	維持
	3020106	少年自然の家管理運営事業費	b	維持
	3020107	野外教育センター管理運営事業費	b	維持
	3020108	神田ふれあいセンター管理運営事業費	b	維持
	3020109	江比間野外活動センター管理負担金	b	維持
地域における生涯学習活動への支援	3020201	地域教育活動事業費	b	充実
	3020202	成人式開催事業費	b	維持
	3020203	家庭教育講座事業費	b	維持
	3020204	青少年交流活動促進事業費	b	維持
	3020205	P T A 連絡協議会補助金	b	維持
	3020206	豊橋市民愛市憲章推進協議会補助金	b	維持
	3020207	校区社会教育委員会事業費補助金	b	維持
	3020208	青少年団体活動補助金	a	維持
図書館の充実	3020301	施設管理費（中央図書館事業費）	b	充実
	3020302	児童図書業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020303	一般図書業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020304	レファレンス業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020305	郷土・司文庫等図書業務費（中央図書館事業費）	a	充実
	3020306	AV・CD 電子図書業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020307	行事開催業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020308	カウンター窓口業務費（中央図書館事業費）	-	維持
	3020309	配本業務費（向山図書館事業費）	b	維持
	3020310	カウンター窓口業務費（向山図書館事業費）	-	維持
	3020311	施設管理費（大清水図書館事業費）	b	維持
	3020312	図書業務費（大清水図書館事業費）	b	維持
	3020313	行事開催業務費（大清水図書館事業費）	b	維持
	3020314	カウンター窓口業務費（大清水図書館事業費）	-	維持

3-5 芸術文化の振興

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
個性あふれる芸術文化の展開	3050101	豊橋文化振興財団補助金	a	維持
	3050102	豊橋青少年オーケストラキャンプ事業補助金	a	維持
	3050103	豊橋青少年オーケストラキャンプ10回記念事業開催事業費	-	完了・廃止
	3050104	文化がみえるまちづくり事業費	b	維持
	3050105	アートによる魅力発信事業費	b	維持
芸術文化活動の推進	3050201	文芸文化事業費	c	維持
	3050202	文化振興表彰事業費	b	維持
	3050203	丸山薫現代詩振興基金積立金	-	維持
	3050204	豊橋交響楽団補助金	c	維持
	3050205	豊橋素人歌舞伎保存会補助金	b	維持
	3050206	吉田文案保存会補助金	a	維持
	3050207	郷土関係出版物補助金	b	維持
	3050208	全国凧揚げ大会開催事業補助金	a	維持
	3050209	三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会負担金	a	維持
	3050210	市民文化会館管理事業費	b	充実
	3050211	西川芸能練習場管理事業費	b	維持
	3050212	三の丸会館管理事業費	b	維持
	3050213	ライフポートとよはし管理事業費	b	維持
	3050214	公会堂管理事業費	b	維持
芸術文化活動の推進	3050215	穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	b	維持
	3050216	アイプラザ豊橋管理事業費	a	維持
美術博物館の充実	3050301	施設管理事業費	a	充実
	3050302	展覧会事業費	b	維持
	3050303	資料収集事業費	b	維持
	3050304	民俗資料収蔵室運営事業費	b	維持
	3050305	市史編さん事業費	b	維持

3-6 科学教育の振興

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
科学教育環境の充実	3060101	施設管理事業費（自然史博物館施設管理事業費）	b	充実
	3060102	石巻自然科学資料館運営事業費	b	維持
	3060103	視聴覚教育センター施設管理事業費	-	維持
	3060104	地下資源館施設管理事業費	-	維持
自然科学を学ぶ機会の充実	3060201	教育普及活動事業費	b	充実
	3060202	資料収集・調査研究活動事業費	b	充実
	3060203	特別企画展開催事業費	b	維持
	3060204	視聴覚教育センター事業費	b	維持
	3060205	地下資源館事業費	b	維持

3-7 文化財の保護と歴史の継承

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
歴史資源の保存と活用	3070101	施設管理事業費（二川宿本陣資料館事業費）	b	維持
	3070102	展覧会事業費	b	維持
	3070103	資料収集事業費	b	維持
	3070104	二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金	a	維持
	3070105	施設管理事業費（商家「駒屋」事業費）	b	維持
文化財保護活動の担い手の育成	3070201	文化財調査事業費	b	充実
	3070202	文化財保存事業補助金	b	維持
	3070203	文化財保存活用事業費	b	維持

3-8 市民協働の推進

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
地域コミュニティ活動の促進	3080101	自治連合会活動事業費	b	維持
	3080102	地域コミュニティ支援事業費	a	維持
	3080103	コミュニティ推進事業補助金	b	維持
	3080104	校区市民館管理運営事業費	b	維持
	3080105	地域集会所建設費補助金	b	維持
	3080106	地域集会所（木造）耐震改修費補助金	b	維持
市民活動への支援	3080201	市民活動支援事業費	a	維持
	3080202	市民協働推進補助金	a	維持
	3080203	市民センター管理運営事業費	b	維持
	3080204	市民協働推進基金積立金	-	充実

3-10 男女共同参画の推進

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
男女がともに活躍できる機会の充実	3100101	男女共同参画啓発事業費	c	充実
	3100102	男女共生フェスティバル開催事業補助金	c	維持
女性の自立支援	3100201	女性相談事業費	a	維持
	3100202	男女共同参画センター管理運営事業費	c	維持

5 外部評価結果

豊橋日本語学校校長で元豊橋市立小中学校長会会長の白井宏治氏、豊橋創造大学短期大学部教授で元豊橋市教育委員会委員の朝倉由美子氏に、選定した6件の取組みに対してご意見やご助言をいただきました。

初期支援コース「みらい西」の開校（外国人児童生徒教育相談事業）

海外(及び、国内の外国人学校)から豊橋市内の中学校に編入してくる生徒の増加は、受け入れ校だけの対応ではとても難しい状況がありました。平成30年度に開設した「みらい東」は着実にその成果を上げてきたと思います。実際、8週間の初期支援を終えた40名の生徒は、それぞれ居住地の学校に戻っていきました。しかしながら、編入者の急増の中で、通級を見合わせなければならない生徒がいたのも事実であります。平成30年度の編入者数と「みらい東」の状況を踏まえて、令和元年度羽田中学校に「みらい西」を開設し、編入生徒全員を受け入れることができたことは高く評価されます。また、8週間の通級期間を10週間に延長したことも注目すべき変更点です。実際、「みらい東」には39名、「みらい西」には17名が通級できました。今後も希望する生徒・保護者のニーズを的確に把握して支援を進めてほしいと思います。

「みらい東・西」での支援を終えて、居住地の学校に戻った生徒のその後の生活適応の状況を追跡調査することは、今後の「みらい」の運営改善につなげるためには必須です。学習習得状況、生活への順応状況に個人差が出てしまうのはやむを得ませんが、一律に「みらい」での学習を修了してしまうことについて配慮すべきことがあるように思っていました。その点についても日本語相談員が国際学級設置校に支援に入っていることは、とてもすばらしいと思います。日本の日常生活、学校生活・学習習慣により早く適応していけるよう、より一層の一人一人に寄り添った支援を強く希望します。

小学校においても同様な要望がある中で、大幅な条件整備を必要としますが、外国人の集住都市である豊橋市として、初期の日本語指導はとても重要だと考えています。令和2年度に小学3～6年生対象の初期支援コース「きぼう」を開設し、その一歩を踏み出すことになったのは大変喜ばしいことです。ただ、編入してくる児童数、在籍校を考えると、中学校とは異なる対応、支援が必要だと思われます。初期支援コースに通えない児童への巡回指導の日数増、支援コースを希望する児童の通学方法支援など十分な予算措置を含んだ改善を願いたいと思います。

このような「外国人児童生徒教育相談事業」の取り組みを該当校、国際学級担当者だけの関わりにしない具体的な工夫が必要です。支援コースに籍を置く生徒・児童の在籍校の担任及び管理職が比較的容易に支援コース訪問ができる環境を整えることも考えてほしいと思います。

イマージョン教育（英会話のできる豊橋っ子育成事業）

英会話能力の低さが世界に羽ばたく日本人の致命的な足かせになっていることを危惧し、すでにさまざまな場面、機関、学校等で英語教育が積極的に取り組まれていることは言うまでもありません。英語によるコミュニケーションがとれることは、世界で活躍できる人材、国際人としての人材の育成にもつながります。豊橋市は平成17年度「英語教育推進特区」の認定を受けて以降、英語教育に対して常に積極的な取り組みをしてきました。コミュニケーション能力の向上を掲げ、英語に対して物おじしない態度の育成に努めました。そうした流れの中で英語運用能力の飛躍的な向上とグローバル社会に対応できる人材育成を旨とするイマージョン教育に向かおうとしていることは公立学校では画期的な動きだと思います。その成果を大いに期待したいと思います。

平成29年度「英語で学ぶ」モデル事業、令和元年度「3年生算数科におけるイマージョン教育コース」の実施と着実にその歩みを進め、その成果と課題をしっかりと把握し、令和2年度からの本実施につなげようとしています。そこでいくつかの気になる視点を挙げたいと思います。

- ① 3年生算数では習得状況の差異は見られなかったようですが、全学年、全教科(国語・道徳を除く)に拡大することによる英語能力向上と各教科の目標達成のための児童や教職員の負担軽減のあり方。
- ② 同じ学年にイマージョン教育コースと通常コースがあるため、それぞれに在籍する児童の人間関係への十分な配慮。
- ③ イマージョン教育コースに在籍する様々な校区に居住する保護者と八町小学校区の保護者の良好な関係の維持。
- ④ 複数の先進校では、小中高の連携の中でイマージョン教育を実施しているようです。八町小のイマージョン教育コースについて、卒業した児童が中学校に進学するときの配慮や支援のあり方と特認校として小学校を選択する時点での中学校への進学に関する十分な説明の必要性。

子どもたちはかけがえのない小学校生活を過ごしていくわけですから、より一層きめ細かで十分な支援体制が求められると思います。また、担当する教師には高い力量が求められますので、教職員数も力量の面も強力な人的支援が必要だと考えます。イマージョン教育の第一歩を踏み出したわけですから、将来を見据えた明確な成果を期待します。

ICTを活用した教育（情報教育推進事業）

子どもたちは ICT 機器を前にすると目が輝き、何も言わなくても動き出します。特に、タブレットは手軽で、事象の視覚化、情報収集の容易さなどの利点があり、学習に活用できます。それだけに初期の指導はとても重要です。今後の『GIGA スクール構想』に大いに期待するとともに、タブレット端末の良さを十分生かして、効果的な学習をさらに高めてほしいと思います。

ICT 教育を進めるにあたって、今までにも多くの議論が交わされてきましたが、4つの視点があると思います。

- ① ICT 環境の整備
- ② ICT を有効に活用できる教員の育成
- ③ 児童生徒の ICT 活用能力の向上
- ④ 情報モラル教育をはじめとする情報教育の充実

まず、ICT 教育を推進するための前提となる「ICT 環境の整備」を着実に進められていることは、とても素晴らしいことだと思います。

ICT 機器の活用が、子どもの学びを効率かつ効果的に進める手段であることは言うまでもありませんが、危惧することは、「ICT を有効に活用できる教員の養成」と「児童生徒の ICT 活用能力の向上」が計画通り進められるかということです。それらをより充実させるためには、十分な時間と意欲ある積極的な取り組みが必要です。また、平成 26 年度に開催された牛川小学校での ICT を活用した「情報教育研究発表会」の成果はどのように各学校に吸収されていったのでしょうか。令和元年度に開催された嵩山小学校のプログラミング教育の発表を具体的にどのように還元していくかについても明確にしていくことが必要です。常に先進的に研究を進めてきた研究発表校の成果をもっと各学校が積極的かつ真摯に受け止めていかなければ、ICT を有効に活用できる教員の育成には程遠いものになってしまいます。そして、ICT 教育の一層の進展は望めません。

コロナ禍ではオンライン授業が注目されました。しかし、日本の状況は諸外国に比べてその脆弱さがメディアでも盛んに取り上げられていました。だからこそ、この機を有効に位置づけ、環境を整備し、各校でリモート授業やオンラインによる会議など、急速に進められる絶好の機会であると思います。この機に大きく前進することを願っています。

民間プール施設を活用した水泳授業の実施（民間プール活用モデル事業）

豊橋市の小中学校のプールはほとんどの施設で老朽化が進んでいます。今後の学校のプールのあり方について検討する中で、夏の一時期だけに使う施設としての改修には経費も高額となることから、改修に代わる方策として、市内の民間のプールを活用する取り組みの可能性の実証が行われて、今年は3年目に入りました。

取り組み2年目の昨年度は2小学校、2プールに増やして実施しました。実施後のアンケート調査の結果から、教員、保護者、そして児童のそれぞれから9割程度の高評価を得ていることから、民間プールでインストラクターとともに水泳の授業を実施することは教育効果向上や環境等においても好ましいことが分かりました。単に屋内の温水プールを借りるだけでなく、インストラクターが授業に加わって泳法の指導をサポートした結果、「長く泳げるようになった」「技術のアドバイスが適切で子どもの意識が高まった」というような良い評価が聞こえています。これらの声から、子どもの学びにおいても、民間プールの活用は、有効であることが裏づけられました。また、屋外より屋内の方が天候の影響を受けないことや指導者の人数が増えることによる安全面が向上するというメリットもあります。

令和2年度は3年目として、民間および公営のプールを使って、新たに7小学校が加わり、遠方施設へバスを利用して移動するケースも想定して広域での実証を行う計画が予定されていました。しかし新型コロナウイルスにより全ての計画が中止となってしまい、この計画の結果を確認できないことは残念です。バスを使った場合や公営プールを使った場合の報告も待ちたいと思います。令和2年度のバス利用の検証が得られない中ではありますが、順に他の小学校にこのプログラムを当てはめ、それぞれの小学校で生じる事情から取り組みがどこまで実現できるのかを更に検証していただきたいです。また、移動の負担軽減にはバスの利用は必要ですし、一定数の小学校が使わざるを得ない状況になるため、配車の確保も大きな課題だと考えます。

学習指導要領には「適切な水泳場の確保が困難な場合には、水泳指導の実技については必修ではない」と示されていますが、水泳の授業の実施の可否について、学校間でばらつきがないようにしていただきたいと思います。行政と小学校が協力して、子どもたちのために、よりよい教育環境を整えていただくことを期待します。

小中学校空調設備整備（小中学校環境整備事業）

夏の平均気温は年々上昇し、小中学校ではエアコンの設置にたどり着くまでは、複数の扇風機やグリーンカーテン濡れタオルなどさまざまな工夫をして暑さを何とか凌いできたようですが、気温の上昇の方が勝り、夏季の学校生活への支障、更には健康障害の心配が増していました。2018年には豊田市の小学校で1年生の児童が郊外学習後に熱中症で亡くなるという悲しい出来事が起きました。当時は教室には扇風機しか設置されておらず、同じ環境であった豊橋市でも起こりうるとして、保護者からの要望や国からの要請と財政支援により、小中学校全校に設置をすることが決定しました。設置工事は順調に進み、令和2年の3月には完了しました。今年は新型コロナウイルスの影響で授業開始が大幅に遅れ、夏休みも短く猛暑による厳重警戒も発令される中で、8月17日から授業が再開しました。全校設置までには、学校や教室の工事のさまざまな計画を進めるにあたり、いろいろとご苦労があったのではないかと推察しますが、今年の夏に間に合ったことを、よかったと評価したいと思います。

また、全校に設置されたことで学校の学習環境が整い、授業時間が快適であることは、子どもたちの集中力の維持にも関係して学力の向上にも効果があると考えます。

一方では、エアコンの使用による光熱費等の経費が増えることが予想されます。新型コロナウイルス感染予防も考慮しながら、子どもにとってよりよい環境の提供と経費の削減の両端の課題の解決に向けて取り組んでいただきたいと思います。

「放課後に地域と連携した小学生の体力向上と健全育成」のモデル事業

子どもは地域の人々と触れあってこそ健全に育つと思います。しかし少子化、近所づきあいの希薄化、犯罪等の不安などが原因なのか、地域の公園などに集まる子どもも少なくなっています。また、体を使った遊びや運動をする光景も見なくなっています。

外遊びが減ったことと関連があるのかもしれませんが、愛知県の小学生の体力テストにおいては5年連続して全国最下位という残念な事実があり、運動やスポーツが好きという子どもの割合も全国で最下位です。これは、豊橋市の子どもにおいても同様であり、このことは看過できません。その背景や原因を探ることが求められると同時に、何かしらの対策を講じないといけません。

その一つとして、令和元年度、豊橋市では、地域の大人が放課後の運動教室を開催するモデル事業を実施しました。スポーツトレーナーの指導のもと、シルバー世代の地元住民がサポートをしながら子どもの運動能力の向上と健全育成に関わるというものです。

2小学校をモデル校にして、各校4日間で計4時間、4年生以上の学年の希望者を募って行ったとのこと。遊び要素も交えた内容で、子どもに「運動は楽しい」ということを体験してほしいという意図が感じられます。その2校の報告には、子どもの運動能力の特性の確認ができた一方で、指導内容だけでなく、やる気を起こさせる声掛けの方法や、人間関係をうまくつなげる方法等についても課題が見つかったようです。

この放課後運動教室（放課後スポーツスクール）のモデル事業を受けて、令和2年度からは「のびるん de スクール」が開講されており、放課後に学校でスポーツや勉強、体験学習等の内容が計画されています。2校がモデル校として6月半ばより活動を開始したということです。実施報告を楽しみにしたいと思います。また、新聞紙上で小学校の部活動が本年度末をもって廃止とすると発表がありました。その点では、この「のびるん de スクール」の存在が一層必要とされることになるでしょう。

地域には昔取った杵柄を持ち合わせた人材がいます。事業の主旨を理解していただき協力を仰ぐことは、地域の繋がりを復活させる意味でも望ましいと評価したいです。

また一方ではシルバー世代の活性化という観点からも双方に利点がある取り組みだと思っています。「こどもは地域で育てる」力に期待します。

